i-touch 取扱説明書

目　次

１．インストール（ソフトウェアのみ御買い上げのお客様）
１－１　インストールの環境
１－２　インストールの手順
１－３　ソフトウェア ID の登録
１－４　インストールできないときは

２．設定

２－１　お客様データの設定 (DPOF 準拠、各 1 枚書き出しの設定)
２－２　写真プリントインデックスの出力設定
２－３　読込みドライブの設定
２－４　サイズ、単価の設定（ノーリツ QSS 自動プリントチャンネルの設定）
２－５　保存フォルダ、一時フォルダの設定
２－６　壁紙の設定
２－７　注文書の印刷設定
２－８　焼増しインデックスの印刷設定
２－９　電話番号入力の設定
２－ 10　CD-R 書きこみの設定
２－ 11　最低ファイルサイズの設定
２－ 12 FTP によるインターネットを利用したデータ送信の設定

３．画像読込み（使用方法）
３－１　画像の取り込みと表示
３－２　注文画面での受付操作方法
３－３　注文写真の確認とサイズ、CD 書き込みの設定

４．メンテナンス機能
４－１　オーダー整理
４－２　写真検索

５．こんなときは

１－１　インストールの環境

i-touch を快適にご利用いただくためには、ご使用いただくコンピュータの環境をお確かめの上、ご使用ください。

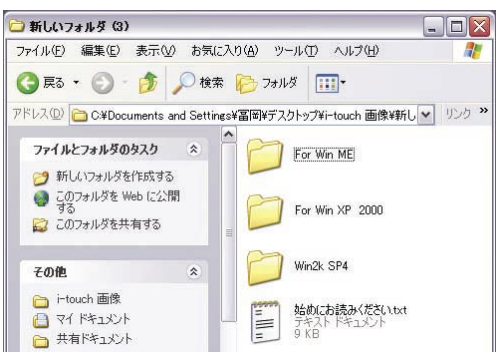
コンピュータＣＰＵ　：　インテル Celeron プロセッサ１．４ＭＨｚ以上
搭載メモリ　：　２５６ＭＢ以上
ハードディスク空容量：　１ＧＢ以上 (推奨２ＧＢ以上)
モニタ　：　１０２４×７６８が表示できるモニタ
対応ＯＳ　：　ウィンドウズＸＰ、２０００、ＭＥ

※ウィンドウズ２０００はサービスパック４のみ対応

１－２　インストールの手順

ウィンドウズ２０００の方はインストールする前に、【マイコンピュータ】右クリック→【プロパティー】にてＯＳのサービスパックを確認してください。サービスパック４をお使いの方は、そのままインストールすることが可能です。サービスパックが４以外のお客様については、ＣＤに附属している【Ｗｉｎ２Ｋ　ＳＰ４】フォルダ内にあるＯＳアップデートプログラムをダブルクリックし、ＯＳのバージョンアップをしてから本ソフトウェアをインストールしてください。

インストール方法



①　現在パソコンが使用しているＯＳに合せて、ＣＤの中にあるフォルダを開きます。

※ＭＥをご利用の方は【For　Win ME】のフォルダ、XP 及び２０００の方は【For Win　XP　２０００】と記載されているフォルダをクリックして下さい。

②　フォルダの中にある【Setup】と書かれたアイコンをダブルクリックするとインストールが始まります。

１－２　インストールの手順

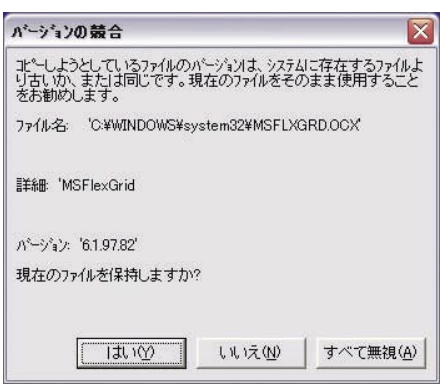
③　セットアップ画面内の【OK】ボタンを押すことによりセットアップが始まります。セットアップをしない方は【終了】ボタンを押してください。

④　セットアップ先の確認画面に切り替わります。プログラムのインストール先を別のフォルダに指定しない限り、コンピュータの絵のついているボタンを押してください。

⑤　インストールが開始されます。

インストール開始時、左図のようなダイアログが表示されますが、これは起動アイコンを、どのプログラムに登録するのかというものです。特に指定がない限りは【継続】ボタンを押してください。

インストール中の画面



インストール中、左記のような画面が何度か表示されることがあります。この場合すべて【はい】のボタンを押してください。

１－２　インストールの手順

⑥　セットアップ完了【OK】ボタンを押すとセットアップ作業は終了します。

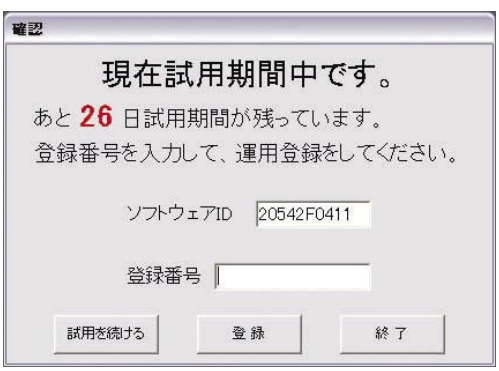
注　セットアップが完了できない方は「１－４　セットアップができないときは」をお読みください。

１－３　ソフトウェア ID の登録

本ソフトウェアは、３０日間をお試し期間として、全機能を制限無で使えます。３０日間を過ぎますと、本ソフトウェアは起動できなくなります。継続してご利用いただくためには、ご面倒でも販売店にソフトウェアのご登録をお願い致します。

又、本ソフトウェアは１台のパソコンに対して、１登録となっております。複数のパソコンにインストールする際は、そのつど販売店にご登録ください。

ソフトウエア登録方法



①　プログラムが起動する際、左記のような画面が表示されます。試用を継続する場合、【試用を続ける】ボタンを押し、試用を継続して下さい。尚、試用期間はインストールをした日を含め３０日間です。

ソフトウェア ID を販売店にお知らせください。登録番号はお知らせいただいた後、発行までに２～３日かかる場合があります。

②　販売店から発行された登録番号を　半角入力で　大文字と小文字を正確に区別しながら　キーボードより入力します。

③　登録が完了すると、左記のように確認画面が表示されます。この登録以降、試用期間の画面が表示されることはありません。

ソフトウェア ID は、大文字、小文字、及び特殊記号から成り立っています。登録の際には必ず半角にて正確に入力をして下さい。

１－４　インストールできないときは

セットアップができない場合、下記を参照してください

①　ウィンドウズXP、２０００でインストールをする際には必ず、管理者の権限がある名前でログインしてから、インストール作業を行なってください。

②　ウィンドウズXP, ２０００において、管理者権限のある名前でログインしてもインストールできない場合がごくまれにあります。この場合、必ず半角英数にて新しいアカウントを作成しログインしなおしてから、インストール作業を行なってください。

新しいアカウントの作成方法

XP の場合､【スタートメニュー】→【コントロールパネル】→【ユーザーとアカウント】→【新しいアカウントの作成】で必ず半角英数にて新しい名前を作成し、作成した名前でログインしなおしてからインストール作業をして下さい。

２０００の場合【スタートメニュー】→【設定】→【コントロールパネル】→【ユーザーとパスワード】→【このコンピューターを使うにはユーザー名とパスワードを入力する必要があります】にチェックをいれる→【追加】→新しいユーザーの基本情報を必ず半角英数にて入力し【次へ】ボタンでパスワードを入力【次へ】ボタン→【その他】の欄にチェックを入れ必ず【Administratours】とプルダウンメニューを指定してから【完了ボタン】を押し、新しく作成した名前でログインしなおした後、インストール作業を行なってください。

使用前の設定

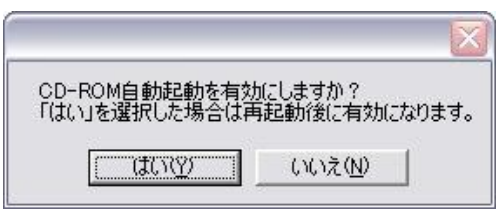
本ソフトを使用するにあたり、各種の設定をする必要があります。この章では設定の方法を説明しています。

２　ソフトを起動する

CD の自動起動ソフトを起動させないようにする

はじめてソフトを起動するときに左図のような画面が表示されます。これはフジ CD 等、CD を PC に挿入すると自動で CD 内のソフトが起動しないように設定するものです。【OK】ボタンをおして、再起動後、再度ソフトを起動してください。

CD の自動起動ソフトを起動させるようにする



ソフト終了時、左図のように CD 自動起動を再度設定するときは【OK】ボタンを押してください。この際、次回の起動時に、再度、CD 自動起動を停止させるため、上記の操作をしなければなりません。

通常の終了作業は【取り消し】ボタンを押して終了してください。

2　設定画面を開く

設定画面では、本ソフトウェアの様々な機能を設定します。又、設定画面においては機能設定を複雑にしないため、全ての設定を 1 画面にまとめる工夫をしています。

① 通常待ち受け画面で、画面を 4 つに区切り①②③④の順番でクリックします。

② メンテナンス画面が表示されます。下段中央の設定変更ボタンを押します。

③ 設定変更画面が表示されます

2. 設 定

２－１　書き出し基準設定

写真をプリントするプリンターには、画像をプリントする際、大きく分けて DPOF 設定でプリント枚数をプリントする機種と、全ての画像を各 1 枚づつしかプリントできない機種があります。

書き出し基準設定とは、本プログラムで読み込んだお客様の注文内容を、写真出力するプリンターにあわせて DPOF で出力するか、注文枚数分の写真を作成するのかの設定です。

① 左図の太線で囲まれた注文ファイルの出力設定指定部分が､書き出し設定部分です。DPOF での出力、 注文枚数を枚数分での出力（注文枚数表示付)、注文駒を各 1 枚づつ（注文枚数表示付）のいずれかを選択してください。

② 保存ボタンを押すと、左記のような確認画面が表示されます。

③ OK ボタンを押すとメンテナンス画面に戻ります。

④ プログラムを終了させます。

プログラムを終了させないで受付に戻った場合、設定した内容は全て消去され、設定前の状態に戻ります。

⑤ プログラムを起動させます

各 1 枚でプリントするタイプのプリンターとは、コパル、ソニー等の昇華型プリンターに代表されるタイプのプリンターです。現在お使いのプリンターにあわせて設定してください。

尚、ノーリツ QSS やフジフロンティアなどのフルデジタルプリンターや感剤メーカー系のプリンター等はほとんどが DPOF に対応しています。通常は DPOF での設定をお勧めいたします。

２－２　プリントインデックス設定

プリントインデックス設定とは、受付ソフトの中で、読み込んだ画像をインデックスにして写真プリント出力する機能のことです。この機能を利用することにより今まで、インデックスが作成できない機械でも、１枚の写真としてインデックスが作成できるようになります。

①　左図の太線で囲まれた写真インデックスの出力設定指定部分が、書き出し設定部分です。読み込んだ画面全部、注文した写真のみ、注文した写真に注文枚数を付ける、インデックスなしの４つから設定してください。

又、インデックスの枚数指定部分には１枚の写真の中に収める駒数を選択できます

②　保存ボタンを押すと、左記のような確認画面が表示されます。

③　OK ボタンを押すとメンテナンス画面に戻ります。

④　プログラムを終了させます。

プログラムを終了させないで受付に戻った場合、設定した内容は全て消去され、設定前の状態に戻ります。

⑤　プログラムを起動させます

インデックスの出力は DPOF 準拠、各１枚出力のどちらの場合でも出力することができます。

２－３　読込みドライブの設定

読込みドライブとは、お客様のメディアを読み取る装置のことです。ここで、ドライブ設定することにより、外付けの読み取り装置なども対応することができます。尚、本ソフトウェアではＡドライブ（フロッピーディスク）の設定は行なわないでください。

① 左図の太線で囲まれたメディア指定部分が、ドライブの設定部分です。メディア名を入力し、ドライブを指定してください。この時、コンピュータ上にないドライブは表示されません。

ドライブ名とドライブの対応は､あらかじめ【マイコンピュータ】で表示されるドライブをメモに取っておくと便利です。

メディア名を入力していない場合、ドライブは設定されませんので、必ず入力してください。又コンピューターが正しく認識していないドライブについては、ドライブ設定欄にドライブ名が表示されません。

② 保存ボタンを押すと、左記のような確認画面が表示されます。

③ OK ボタンを押すとメンテナンス画面に戻ります。

④ プログラムを終了させます。

プログラムを終了させないで受付に戻った場合、設定した内容は全て消去され、設定前の状態に戻ります。

⑤ プログラムを起動させます

２－４　サイズ、単価の設定（ノーリツ QSS 自動プリントチャンネルの設定）

サイズ設定では、お客様の注文サイズを、保存フォルダに保存されるお客様のフォルダに記述するだけで、お客様の画像をリサイズ（変更）することはありません。この機能は手動でプリンタのプリントサイズを指定するときに、お客様のフォルダを見るだけでお客様がどのサイズを指定したのかを解かりやすくするための機能です。単価設定では、注文枚数×単価を計算し合計金額を算出するものです。尚、サイズ設定では、任意にサイズ名を付け加えることはできません。

プリントチャンネルはノーリツ鋼機 QSS デジタルプリンタ２８型以降に接続する方のみ、ご利用いただける機能です。プリントする QSS のプリントチャンネルをあらかじめ入力しておけば、QSS の自動チャンネル設定が有効になります。

① 左図の太線で囲まれたチャンネル指定部分が､サイズと単価及び､ノーリツQSSチャンネル設定部分です。サイズ欄に単価を入力することにより、お客様が入力する注文サイズに入力したサイズが表示されます。

ノーリツ QSS では、プリントを行なうプリントチャンネルを入力してある場合のみ､自動チャンネル設定が有効になります。

お客様の注文確認画面では、サイズ欄に単価を入力しているサイズのみが表示され選択ができるようになります。

本ソフトウェアでは、お客様のオーダー１回ごとにサイズを指定します。１オーダーによるサイズの混在指定はできません。

② 保存ボタンを押すと、左記のような確認画面が表示されます。

③ OK ボタンを押すとメンテナンス画面に戻ります。

④ プログラムを終了させます。

プログラムを終了させないで受付に戻った場合、設定した内容は全て消去され、設定前の状態に戻ります。

⑤ プログラムを起動させます

２－５　保存フォルダ、一時フォルダの設定

保存フォルダとは、お客様が注文したデータを保存する場所です。画像データはかなり大きくなることがあります。コンピュータにＣドライブ以外の大容量ディスク（Ｄドライブ等）や外部ハードディスクがある場合は、保存先をＣドライブ以外に設定することをお勧めします。又、一時フォルダとは注文中のお客様データを管理するフォルダのことです。

尚、インストール後の初期設定値は保存フォルダ、一時フォルダ共にＣドライブに設定されます。

① 左図の太線で囲まれた注文格納フォルダ部分が保存フォルダ、一時フォルダ部分が一時フォルダです。

変更する場合、右側のボタンを押してください。

② ボタンを押すと、左記のエクスプローラ画面が表示されますので、変更するフォルダを指定してOKボタンを押してください。

写真プリンターを接続している場合、変更した保存フォルダに対して、共有設定ONにしておかないと写真プリンター側からフォルダ内にあるデータを読み取ることができません。

共有設定に関しては、【マイコンピュータ】→【保存先のドライブ】→【対象のフォルダ】右クリック→共有設定で、設定してください。

③ 保存ボタンを押すと、左記のような確認画面が表示されます。

④ OKボタンを押すとメンテナンス画面に戻ります。

⑤ プログラムを終了させます。

プログラムを終了させないで受付に戻った場合、設定した内容は全て消去され、設定前の状態に戻ります。

⑥ プログラムを起動させます

２－６　壁紙の設定

壁紙の設定とは、待ち受け画面を一定の時間ごとに表示を切り替えられるようにする機能です。この機能により、モニタの色やけを防止する効果があります。又、壁紙の表示は何枚でも表示することができますので、お店の宣伝などを作成した壁紙を表示させられます。

① 左図の太線で囲まれた部分が壁紙の設定部分です。表紙切り替え時間と記載している部分が表示切替の時間です。表紙画像フォルダと書かれている部分が、壁紙の格納フォルダです。

壁紙フォルダは【C ドライブ】→【プログラムファイル】→【イメージオーダー】フォルダ内にあります。

壁紙の内容を変更したい場合、このフォルダの中に、表示したい画像を入れてください。又、要らない画像を削除すれば削除した画像は表示されません。

注. 切り替えの時間はコンピュータの CPU 性能と搭載メモリにより指定した時間と異なることがあります。

② 表紙画像フォルダ右側にあるボタンを押すと、左記のエクスプローラ画面が表示されますので、壁紙フォルダを変更したい場合、変更したいフォルダを指定して OK ボタンを押してください。

ウィンドーズ上のスクリーンセイバーが有効になっている場合は、ウィンドウーズ上のスクリーンセイバーを無効に設定してください。

設定方法

【デスクトップ】右クリック→【プロパティ】→【スクリーンセイバー】で設定できます

③ 保存ボタンを押すと、左記のような確認画面が表示されます。

④ OK ボタンを押すとメンテナンス画面に戻ります。

⑤ プログラムを終了させます。

プログラムを終了させないで受付に戻った場合、設定した内容は全て消去され、設定前の状態に戻ります。

⑥ プログラムを起動させます

２－７　注文書の印刷設定

注文書の設定とはお客様の注文後、自動的に控えを発行する機能の設定です。この機能を利用するためには、市販されている汎用のプリンタを接続する必要があります。プリンタについては、A－4が印刷できるものなら機種をといません。又、注文書には、1枚の用紙の中にお客様控えとお店控えが同時に印刷されます。お店控えの中には、お客様注文の一番初めの駒と最後の駒の写真が印刷されますので、プリント後の仕訳検品作業が簡単になります。

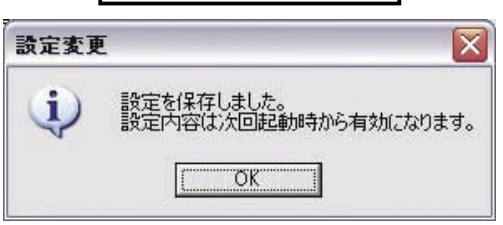
①　左図の太線で囲まれた注文票印刷と書かれた部分をONにすることにより、注文書が自動的に印刷されます。又、左図上部の太線で囲まれたインデックス印刷タイトル指定と書かれている部分に店の名前を入力しておけば、お客様控え部分に、お店の名前が印刷されます。

注.　インデックス印刷の設定では、文字の大きさを変えることができません。

注文書は左記のようにＡ５サイズであれば1枚の中にお客様控え、お店控えが印刷されます。

お店控えの中には、DPOF情報を基に一番初めにプリントされる写真と、一番最後にプリントされる写真が表示されます。お客様の仕訳にご利用ください。

注．プリンターはあらかじめ、ウィンドウズOS内のプリンター設定画面にて、【通常使うプリンター】と設定されているプリンターで印刷されます



②　保存ボタンを押すと、左記のような確認画面が表示されます。

③　OKボタンを押すとメンテナンス画面に戻ります。

④　プログラムを終了させます。

プログラムを終了させないで受付に戻った場合、設定した内容は全て消去され、設定前の状態に戻ります。

⑤　プログラムを起動させます

２－８　焼増しインデックスの印刷設定

焼増しインデックスの印刷設定とは、お客様の注文後、インクジェットプリンターを利用して、普通の紙に、お客様のメディア内にある全画像を印刷するタイプと、お預かりした注文データのみを印刷するタイプの２つを選択できます。これらは後からお客様が焼増し注文をする際、便利な機能です。お店の付加価値と差別化にご利用ください。

① 左図の太線で囲まれたインデックス印刷と書かれた部分を選択することにより、インデックスが自動的に印刷されます。又、左図の太線で囲まれたインデックス印刷タイトル指定と書かれている部分に店の名前を入力しておけば、インデックス部分に、お店の名前が印刷されます。

注. インデックス印刷の設定では、文字の大きさを変えることができません。

インデックスは左記のようにＡ５サイズ１枚の中に横６列、縦８行で印刷されます。

又、インデックスには、注文枚数記入欄がありますので、お客様の再注文用紙として、利用することができます。

注. プリンターはあらかじめ、ウィンドウズ OS 内のプリンター設定画面にて、【通常使うプリンター】と設定されているプリンターで印刷されます

レシートプリンターには本機能は対応していません。レシートプリンターをご利用の際は本機能を OFF にして下さい

② 保存ボタンを押すと、左記のような確認画面が表示されます。

③ OK ボタンを押すとメンテナンス画面に戻ります。

④ プログラムを終了させます。

プログラムを終了させないで受付に戻った場合、設定した内容は全て消去され、設定前の状態に戻ります。

⑤ プログラムを起動させます

２－９　電話番号入力の設定

電話番号の設定とはお客様の注文途中、名前の入力後、電話番号を入力してもらうかどうかの機能です。電話番号を入れることにより、お客様に写真をお渡しする際、渡し間違いを減らすことができます。

① 左図の太線で囲まれた電話番号入力と書かれた部分を ON にすることにより、お客様の注文途中において、名前を入力後、電話番号を入れる画面を表示します。

② お客様が名前を入力し、ＯＫボタンを押した後､左記のような画面が表示されます。この画面では、数字ボタンしか押すことができません。

③ 保存ボタンを押すと、左記のような確認画面が表示されます。

④ OK ボタンを押すとメンテナンス画面に戻ります。

⑤ プログラムを終了させます。

プログラムを終了させないで受付に戻った場合、設定した内容は全て消去され、設定前の状態に戻ります。

⑥ プログラムを起動させます

２－10　ＣＤ－Ｒ書きこみの設定

ＣＤ－Ｒ書きこみの設定とは、お客様がＣＤ－Ｒを作成するかどうかを、注文データが格納されるお客様フォルダにＣＤ－Ｒ有と書き込むだけの機能です。実際にＣＤ－Ｒ書き込むためには、別途ＣＤ－Ｒを書き込める機械と、書き込みソフトが必要となります。

この設定をＯＮにすることにより、お客様が注文サイズを指定する画面で、書きこみの選択表示が画面上に表示されます。

①　左図の太線で囲まれた「ＣＤ－Ｒ書き込み」表示と書かれている部分をＯＮにすることにより、お客様がサイズしてをする際、ＣＤ－Ｒ書き込み選択画面が表示されます。

②　お客様の注文確認画面で左記のように、太線で囲まれた部分が表示されます

DPOF フォルダ内に保存されるお客様フォルダの末尾（アンダーライン部分）が、お客様の注文内容です。

上段から CD 書き込み無（サイズ指定の表記のみ）、同時 CD 書き込み（CD とサイズ指定の表記）、CD 書き込のみ（サイズ指定の表記無）となっています。

③　保存ボタンを押すと、左記のような確認画面が表示されます。

④　OK ボタンを押すとメンテナンス画面に戻ります。

⑤　プログラムを終了させます。

プログラムを終了させないで受付に戻った場合、設定した内容は全て消去され、設定前の状態に戻ります。

⑥　プログラムを起動させます

２－11　最低ファイルサイズの設定

最低ファイルサイズとは、この欄に入力する値のサイズ以下の写真は注文画面に表示させなくするという機能の設定です。この機能は、カメラによっては同じ写真をプリント用、サムネイル（見本用）用の２つを生成する機種があります。この最低サイズ設定をしておかないと、サムネイル用の写真も表示してしまい、同じ写真を２枚注文してしまうことになる場合があります。

又、携帯電話などのデータ量の少ない写真をプリントしたい場合は、設定値を１と設定することにより、全ての写真を表示させることができます。

①　左図の太線で囲まれた最低ファイルサイズの設定値をキーボードから、半角で入力します。

②　保存ボタンを押すと、左記のような確認画面が表示されます。

③　OK ボタンを押すとメンテナンス画面に戻ります。

④　プログラムを終了させます。

プログラムを終了させないで受付に戻った場合、設定した内容は全て消去され、設定前の状態に戻ります。

⑤　プログラムを起動させます

2－12　FTP によるインターネットを利用したデータ送信の設定

FTP によるインターネットを利用したデータ送信設定とは、インターネットを利用して本ソフトウェアで受注したお客様の注文データを、送信する機能のことです。ここでの設定をする前に必要な環境を準備してください。

必要な環境の準備

送信側：① ADSL 等の常時接続対応の高速インターネット（ブロードバンド）
コンピュータへの接続には無線 LAN 不可

受信側：① ADSL 等の常時接続対応の高速インターネット（ブロードバンド）
コンピュータへの接続には無線 LAN 不可
②インターネット上の住所に当たる固定 IP アドレス、又は固定 IP アドレスに準じるダイナミック DNS サービス
③データを受取るソフト（FTP サーバーソフト）

FTP サーバー用ソフトの入手には、インターネット等にてご参照ください
お勧めサイト・・・・http://go.to/nekosogi
お勧めサイトでは、作者のご好意により、無料で NekosogiFtpd Ver2.03 がダウンロードできます。
もしくは　http://www.vector.co.jp/　等から検索して、お探しください

送信側の設定（受信側の設定は FTP サーバーの説明書をお読みください）

① 左図の太線で囲まれた FTP 設定に送り先の情報を入力します。

サーバー　：プロバイダから割振られた送り先の IP アドレス、又はダイナミック DNS を入力します。

ユーザー名：受信側 FTP サーバーソフトで設定した名前を入力します

パスワード：受信側 FTP サーバーソフトで設定したパスワードを入力します

② 保存ボタンを押すと、左記のような確認画面が表示されます。

③ OK ボタンを押すとメンテナンス画面に戻ります。

④ プログラムを終了させます。

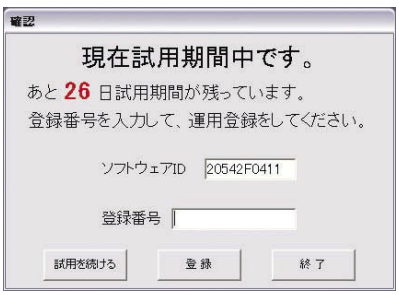
プログラムを終了させないで受付に戻った場合、設定した内容は全て消去され、設定前の状態に戻ります。

⑤ プログラムを起動させます

3　画像読込み（使用方法）

各種設定が完了しましたら、お客様の注文受付を開始できます。尚、本ソフトウェアで表示できる画像は、デジタルカメラで撮影した JPEG 画像のみとなっております。あしからずご了承ください。

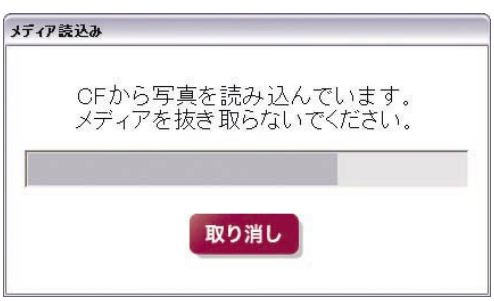
3－1　画像の取り込みと表示



①　コンピュータの電源を入れ、本ソフトウェアを起動させます。

試用期間中の方は左記のような画面が表示されますので、【試用を続ける】ボタンをクリックし、ソフトウェアを起動してください。

②　お客様のメディアを、メディアにあったスロットと呼ばれる挿入口にセットします。



③　スロットにメディアがセットされると自動で、メディア内にある写真を読込みます。尚、読込みを中止するときは必ず【取り消し】ボタンを押してからメディアを抜いてください。

④　読込みが終了すると注文画面に切り替わります。

メディア内の写真はお客様の DPOF 情報があるないに関わらず、全ての写真が表示されます。DPOF 情報は枚数欄と日付欄に、入力したデータとして自動で入力され表示されます。

３－２　注文画面での受付操作方法

画面上部のボタン

全て日付 ON
　表示されている全ての画像に対して、日付有の注文入力をします。

全て日付 OFF
　表示されている全ての画像に対して、日付無の注文入力をします。

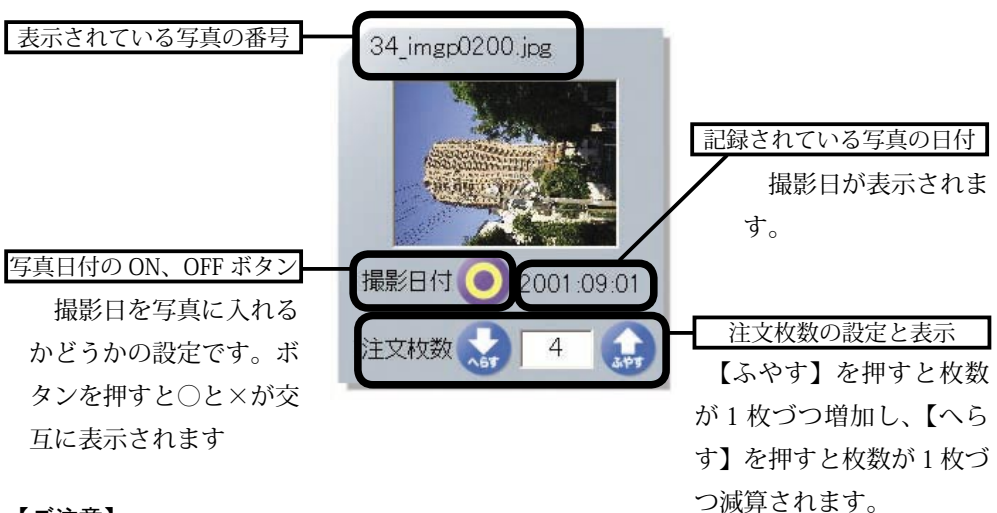
全て１枚
　表示されている全ての画像に対して、各１枚の注文入力をします。

全て０枚
　表示されている全ての画像に対して、各０枚の注文入力をします。

全て＋１枚
　表示されている全ての画像に対し、すでに設定されている枚数に＋１枚を設定します。
　各２枚、各３枚等や、DPOF 設定がされている画像の他に、全画像を１枚づつ追加する場合にご利用ください。

全て－１枚
　表示されている全ての画像に対し、すでに設定されている枚数全てに－１枚を設定します。

表示画像のボタン



【ご注意】

写真に日付を設定する際には、写真に日付が埋め込まれていないかどうかを確認してください。埋め込まれている写真に対して、日付設定ボタンを○にした場合、日付の上に DPOF で日付を書き込んでしまいます。又、日付ボタンを×に設定しても埋め込まれている日付は消去されず、写真の中に表示されたままとなります。確認の方法は次ページで解説している拡大表示で確認することができます。

３－２　注文画面での受付操作方法

表示画像の拡大

【ご注意】
拡大表示の比率は、デジカメサイズの比率（４：３）でのみ表示されます。

表示しているページの切替と注文の確認

　画像の表示は一画面の中に８駒表示されます。画面ページの総数と、現在表示されているページは左図の右上、太線で囲まれている部分に表示されます。

【次ページ】
次の画面に表示を切り替えます
【前ページ】
前の画面に表示を切り替えます
【末　尾】
一番最後の画面に表示を切り替えます
【先　頭】
一番初めの画面に表示を切り替えます
【注文確認】
枚数や日付をセットし注文を確定します
【取り消し】
注文を途中で取りやめます

３－２　注文画面での受付操作方法

名前と電話番号の入力

注文画面で【注文確認】ボタンを押すと、左記のように名前入力画面が表示されます。

名前入力画面では、カタカナのみの入力となりますが、キーボード上から入力することにより、漢字入力が可能です。

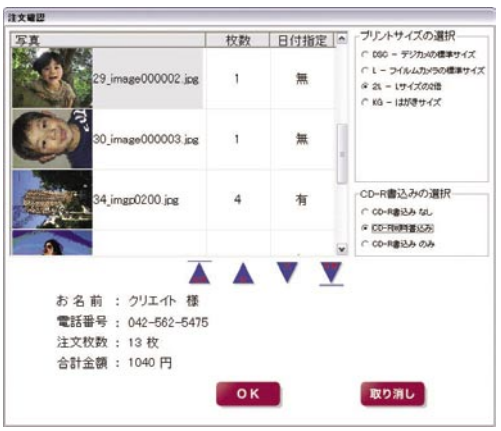
名前入力画面で【OK】ボタンを押すと、左記のように電話番号入力画面が表示されます。

この画面は、設定画面の電話番号入力をOFFにすることにより、スキップ（表示させない）させることが可能となります。

３－３　注文写真の確認とサイズ、CD 書き込みの設定

注文確認画

注文確認画面で【注文確認】ボタンを押すと、注文確認画面に切り替わります。この画面では、注文した写真の確認、及びプリントサイズの選択と CD 書きこみの有無を設定できます



【プリントサイズ選択】

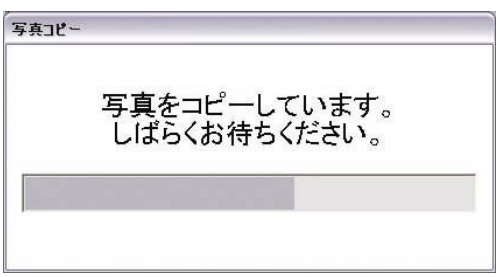
ここに表示されるのは、設定画面で単価を入力したサイズだけが表示されます。

選択の方法はサイズの横にあるボタンを押して、選択します。

【CD 書きこみの選択】

ここに表示される枠は、設定画面で CD 書き込み設定を ON にしている場合のみ、表示されます。

希望の注文ボタンを押し選択します



【OK】をボタンと押すと、お客様の注文は完了します。この後、コンピュータの DPOF フォルダにお客様の注文データを書き込み始めます。

注文写真のデータ保存が完了すると左記のような注文完了画面が表示されます。

メディアを抜き取った後、【OK】ボタンを押してください。

注文票、インデックス印刷を設定している方は、OK ボタンを押したタイミングで印刷が始まります。

4　メンテナンス

ご注文いただいたお客様のデータを、インターネットを通じての転送や、メディアへの書き出し及び、お客様データを消去するにはメンテナンス画面から、オーダー整理画面に切り替えて、操作をします。又、お客様が CD などにたくさんのフォルダを作成した状態で、注文を紙に記入してきたような場合、受付機を利用しても、注文の番号を探し出すことは、なかなかできません。このようなときに、写真検索モードにて、フォルダを指定することにより、特定の写真を探し出すことが容易になります。

メンテナンス画面 (オーダー整理画面) の表示方法

①　通常待ち受け画面で、画面を 4 つに区切り①②③④の順番でクリックします。

②　メンテナンス画面が表示されます。上段左側のオーダー整理ボタンを押します。

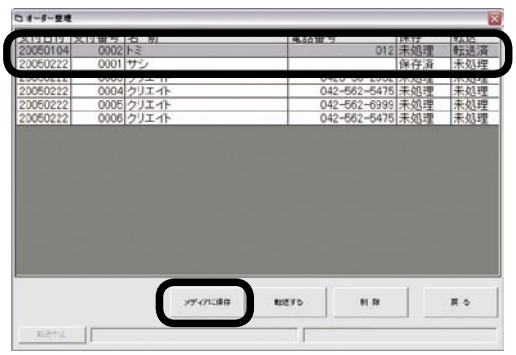
③　オーダー整理画面が表示されます

４－１　オーダー整理

オーダー整理ーメディアに保存

メディア保存機能の使用方法は、主に、受付機と写真プリンタがオンラインで接続されていないときに、お客様の注文データをメディアなどに保存し、メディアでデータのやり取りを行なう機能です。この機能を利用することにより､お店でプリントできないサイズなどでも､お客様からメディアを預からず、データをお店のメディアに保存しラボに DPOF プリントを任せることができます。

尚、書き出されるデータは、お客様フォルダ内にある、写真を収めたフォルダ（DCIM フォルダ）と枚数の指定や日付の書込みなどを指定する DPOF フォルダ（MISK）の２つです。お客様の名前情報の付いたフォルダは書き出しの際、DPOF 基準に準拠させるため、書き出しません。従って、メディアへの保存は、１客１メディアとなります。（複数のお客様データを書き込めません）



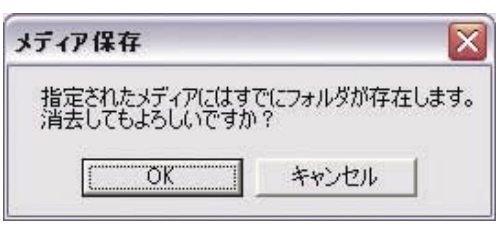
①　保存をするお客様の行をクリックして反転させ選択ます。

②　お客様データを選択した後、【メディアに保存】ボタンを押します

③　保存するメディアを指定します。

【ご注意】
本ソフトウェアでは CD-ROM に対する書き込みサポートはしていません。CD-R を指定しても書き込みは行ないません。

保存するメディアをセットし、【OK】ボタンを押すと書込みが始まります。

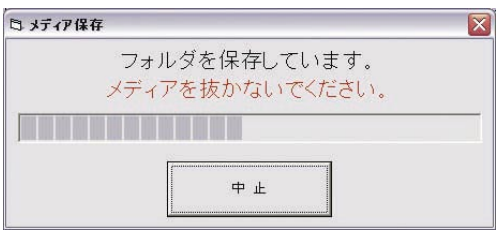


書込もうとしているメディアの中に、写真データが存在しいている場合、左記のような警告が表示されます。

データを消去して、書込みを続けるには【OK】ボタンを押してください

４－１　オーダー整理

オーダー整理ーメディアに保存



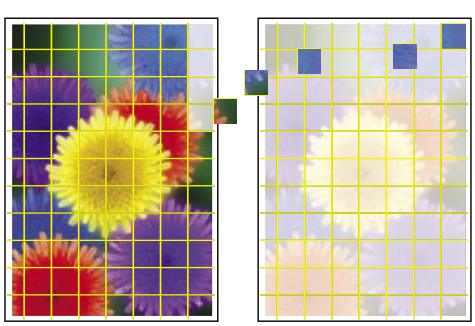
⑥　書込みが始まります

⑦　書込みが終了します。保存先ドライブのアクセスランプが完全に消灯していることを確認してから【OK】ボタンを押し、メディアを抜いてください。

【メディア保存時の重要な警告】

メディアを抜くときには必ず保存先ドライブのアクセスランプが消灯していることを確認してからメディアを抜いてください。

コンピュータでのデータ書き込みの仕組みは、下記の保存先のイメージ図のように、基のデータ（お客様データ）をいくつかのブロックに区切り、ブロックごとに搭載メモリに書込み作業をして、更に搭載メモリから保存先メディアに書込むという工程を行ないます。【ファイルの保存を終了しました】というメッセージは最後の段階、すなわちコンピュータの搭載メモリから、メディアへの書き出しが終わったという信号が発信された段階で表示されます。しかし、実際の書き出し終了は、コンピュータの CPU、メディアへの通信速度、およびメディアのデータ容量により、すべてタイミングが変化します。



メディア保存のイメージ図

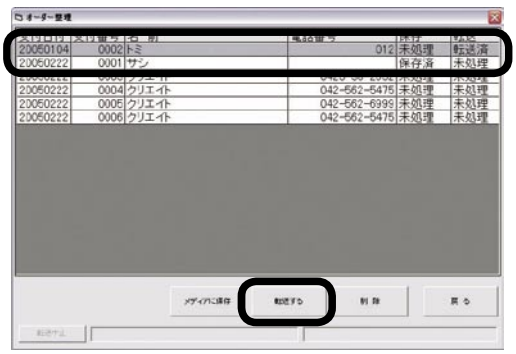
コンピュータが書き出しを終了したと認識をしても、実際の書き出し作業はまだ、作業の途中です。ウィンドウーズの OS システムにおいて、実際の作業終了を知るには、ドライブのアクセスランプが点灯しなくなる（消灯）ことでしか判断できません。

目安として、【保存終了】の表示が出てから最低でも、約２分と覚えておくと便利です。

４－１　オーダー整理

オーダー整理ー転送する

【転送する】機能はインターネットを利用して、受注したお客様のデータを、フォルダごと特定のコンピュータに転送する機能のことです。本ソフトウェアでは転送の途中にメーカー等のサーバーを必要としません。転送に際して、特別な料金は不要です。又、転送機能は FTP 方式を採用していますので、メールに添付する方式と違い、転送するデータ容量に制限はありません。設定の方法は１７ページをご参照ください。



① 転送をするお客様の行をクリックして反転させ選択ます。

転送をする際、連続で並んでいるお客様ならば、複数選択できます。

② お客様データを選択した後、【転送する】ボタンを押します

③ 転送が開始されます

転送中はオーダー整理画面の下段にインジケーターが表示され、転送状況を確認できます。

転送時間はインターネットへの接続形態と、プロバイダや回線接続基地などの利用状況により変化します。

転送中でも【戻る】ボタンを押せば受付画面にもどり、受付ができます。

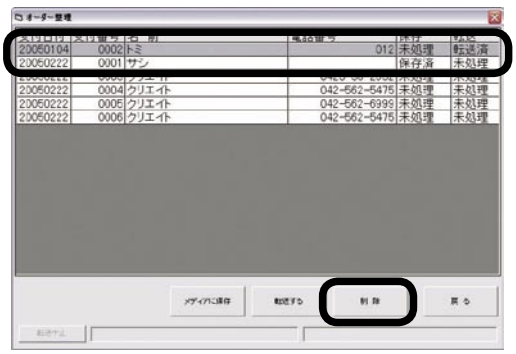
転送中の受付作業では、コンピュータの反応が鈍くなることがありますが、故障ではありません。

転送済みの表示は、いったんメンテナンス画面に戻り、再度オーダー整理画面に切り替えたときから表示されます。

４－１　オーダー整理

オーダー整理ー削除

【削除】機能は指定したお客様のデータを削除する機能です。お客様が注文する画像データは一般的にかなり大きなデータ容量があります。コンピュータ搭載のハードディスクの空き容量が小さくなると、コンピュータの動きが鈍くなったり、誤作動の原因になります。空き容量の管理はこまめに行なうことをお勧めいたします。



①　削除をするお客様の行をクリックして反転させ選択ます。

削除をする際、連続で並んでいるお客様ならば、複数選択できます。

②　お客様データを選択した後、【削除】ボタンを押します

③　削除の確認

【OK】ボタンを押すと削除が開始されます。

削除したお客様のデータを再度、呼び出すことはできません。削除をする際は十分な確認を行なってから、削除をして下さい。

４－２　写真検索

写真の検索をする

1 枚の CD の中にたくさんの項目別フォルダがあり、更にはそれぞれのフォルダの中に他のフォルダの中にある写真番号と同じ番号がいくつも混在している。(ID ナンバーのない APS フィルムとインデックスを何本か持参してきて、駒ナンバーが指定された焼き増しの注文を受ける状態と同じです）このような場合、店頭受付機を利用しても同じ写真の番号で違う写真が表示されてしまいます。このようなとき、特定フォルダの中の写真だけを表示させる機能が写真検索機能です。

メンテナンス画面 (写真検索画面) の表示方法

①　通常待ち受け画面で、画面を 4 つに区切り①②③④の順番でクリックします。

②　メンテナンス画面が表示されます。上段右側の写真検索ボタンを押します。

③　写真検索画面が表示されます。
テキストボックス右側の【…】ボタンを押すことにより、エクスプローラが表示されます。

４－１　オーダー整理

オーダー整理ー写真検索

④　探そうとしているフォルダを指定して、【OK】を押します。尚、フォルダの中にあるフォルダの写真は読み取ることができません。

エクスプローラ左側の【＋】表示があるフォルダにはその中にフォルダが存在しています。【＋】の部分をクリックして最後のフォルダを指定してください。

⑤　テキストボックスに検索しようとするフォルダが自動的に入力されます。
【検索】ボタンを押すと検索が始まります。

⑥　フォルダ内にある写真が通常受付画面に表示されます。

通常の受付作業と同じく枚数の設定をして注文作業をして下さい。

写真検索画面から検索したオーダー画面では、お客様の設定した DPOF 情報は一切反映されません。

5　こんなときは

本ソフトウェアが正しく動作しないときは、お問い合わせいただく前に下記に掲載されていることをチェックしてください。

画像を認識しない

本ソフトウェアはデジタルカメラの Jpeg フォーマットにのみ対応しています。お客様が自宅のコンピューターで作成したデータに関しては、サポートしていません。

CD-RW などを自宅のコンピュータなどで作成している場合、書きこみ終了処理がされていない可能性があります。

フジフィルムが過去に製作していた FDI フォーマットには対応していません。

コンピュータに搭載されているメモリが少ない場合、もしくは CPU の性能が遅い場合、壊れかけのデータを読み込まない場合があります。（プリンターで直接プリントしてください。）

メディアを入れても、反応しない場合、コンピュータがメディアスロットをきちんと認識していない可能性があります。（コンピュータとドライブの接続相性が悪い場合に､よく発生します）コンピュータの電源を切り、いったん電源コンセントを抜いてから、再度コンピューターを起動させてください。

メディアのフォーマット（仕様）がマッキントッシュフォーマットではありませんか

起動時、設定したドライブを認識しない

ソフト起動画面で【○○ドライブが使用できません】という警告が出ている場合は、コンピュータがメディアドライブを認識していない。もしくは設定画面でドライブ設定をしていない可能性があります。設定画面でドライブ名が表示されない場合は、コンピュータがドライブを認識していません。いったんソフトを終了させ、ドライブをつなぎ直してから、ソフトを起動させてください。

フリッピーディスクから音がなる

ドライブの設定で、フロッピーデスク（A ドライブ）が設定されています。本ソフトウェアではフロッピーディスク（A ドライブ）をサポートしていません。

５　こんなときは

注文の途中でソフトがダウンしてしまう

CPU の性能が低いコンピュータや搭載されているメモリが少ない場合、もしくはハードディスクの空き容量が少なくなっている場合に発生することがあります。ハードディスクの空き容量を増やして、コンピュータを再起動させてください。

お客様が家で特殊な加工をした JPEG データや、デジカメで写真を撮影中、撮影データをカメラがメデイアに記録する際に電池切れを起こした場合、壊れたデータが作成されることがあります。本ソフトで壊れたデータが含まれているフォルダを読み込む場合、ソフトがメディアのデータを保護するため（書き換えない）、自動的にダウンします。壊れているデータを修復するには、壊れているデータをフォトショップなどの画像ソフトもしくはウインドウズ附属のペイントソフトで開き、JPEG で別名保存することにより、データエラーのない画像データを作成することができます。（画像自体は修復されません。修復されるのは JPEG フォームです）

尚、コンピュータからデータをメディアに保存している途中、メディアをコンピュータから引き抜くとデータの壊れる原因となります。（本書２５ページを参照してください）

保存メディアが壊れている可能性があります。コンパクトフラッシュ、SD メモリーカード、メモリースティック、xD ピクチャーカードといったメモリーカードにも寿命があります。メモリーカードでは、データ記憶用にフラッシュメモリーが使われています。書き換え回数は、メモリーの世代、容量などによって異なり、個体差もあります。メーカーでは数万～ 20 万回程度の書き換えを保証回数として定めていますが、「通常の使い方では、寿命が原因による故障は起こらないと考えていい」というのがメモリーカードメーカー各社の共通の見解ですが、実際には、光学メディアと同様、コネクターの接触部分の磨耗や破損など寿命以外の要因で、使えなくなってしまうケースが多いようです。メモリーカードを強い磁気や電気の発生源に近づけることも、故障の原因となるので注意が必要です。メモリーカードのクラッシュはカメラと同様に突然発生します。

しかし、この故障は、２５ページで解説したように、自分のパソコン上では、データコピーの際、一度、本体のメモリー上に書き出しをするので、故障していることが判りづらくなっています。

５　こんなときは

画像の日付が違う

日付の情報は画像データに附属している。EXIF と呼ばれる情報です。この情報はカメラ側で記録していますので、カメラ側の日付設定を確認してください。

埋め込まれた日付をプリントさせたくない

画像に埋め込まれている日付は、画像加工ソフトでなければ修正できません。

携帯電話で撮影した画像が表示されない

携帯電話では写真データの容量が少ないため、データ量が最低ファイルサイズの設定値より低い場合、表示されません。最低ファイルサイズの設定値を１にして下さい。

同じ写真が２回表示される

サムネイルと呼ばれる子画像を生成するデジカメでは、最低ファイルサイズの設定値が低い場合、メディア内のデータを全て表示します。最低ファイルサイズの設定値を２５～３０にして下さい。尚、設定値は絶対に３３以上には設定しないでください。

設定画面が開かない

設定時に無効な数値を入力した可能性があります。この場合、設定値を初期化する必要があります。

プログラムが起動しない

設定時に無効な数値を入力した可能性があります。この場合、設定値を初期化する必要があります。

設定値の初期化方法

注意：設定値を初期化すると、今まで設定した設定値は全て初期値に戻ります。設定値を再度設定する必要があります。

①【マイコンピュータ】→【C ドライブ】→【Program　Files】で《imgOrder》というフォルダの場所を探す。　※フォルダは絶対に開かないでください。＝探すだけです。

②インストール用 CD の中にある【初期化用フォルダ】→【drive.ini】と書かれたアイコンを①で探したフォルダの上にドラッグする。

③同じファイルがありますという警告が表示されます。→上書きしてください。→開いている全てのウィンドーを閉じます。

以上で設定の初期化は終了です。設定値を設定してご利用ください。

５　こんなときは

dpof フォルダ、Temp フォルダを LAN で接続した他のコンピュータ上の共有フォルダに設定するとプログラムが起動しなくなる。

ウィンドウズ OS のエラーです。対策方法として、一度、設定値を初期化した上で、下記の方法をお試しください。
①送られる（保存）側のフォルダに共有設定をします。
②共有設定をしたフォルダの中にもう 1 つフォルダを作成します（保存フォルダの作成）。
③ i-touch の設定で、①で作成した共有フォルダの中に作った②のフォルダを指定します
※設定値は初期化されていますので、再度設定してください。

dpof フォルダ、Temp フォルダを Win XP SP2 OS を搭載し LAN で接続した他のコンピュータ上の共有フォルダに設定するとデータ保存ができない。もしくはプログラムが保存中にダウンする。

ウィンドウズ XP SP2 OS のセキュリティシステムによるデータの書き換え保護設定の解除が必要です。対策方法として、下記の方法をお試しください。

① 【コントロールパネル】→【ファイアウォール】→【全般タブ】→有効にチェック有、例外を許可しないはチェック無 【例外タブ】→ファイルとプリンタの共有にチェックを入れる

② 共有フォルダに対して 【共有フォルダ】右クリック→ウィザードが出たら、ウィザードは使わない。→【共有タブ】ネットワーク上での共有とセキュリティ→ネットワーク上でこのフォルダを共有するにチェック、ネットワークユーザーによるファイルの変更を許可するにチェック→【OK】

※ この方法で保存できない場合、ウィルス対策ソフトなどが原因となっている可能性があります。コンピュータの製造元へ「WinXP SP2 の共有フォルダ設定について」と、お問い合わせください。

※ プログラムが起動しない場合、前掲の《dpof フォルダ、Temp フォルダを LAN で接続した他のコンピュータ上の共有フォルダに設定するとプログラムが起動しなくなる。》をはじめに施工し、プログラムの起動を確認したうえで、本掲の対策を施工してください。

検索画面で、写真がないと表示する

検索画面で、検索できるのはフォルダ内にある写真です。フォルダの中に、子フォルダがあり、その子フォルダの中に写真がある場合、写真がないとう表示がされます。写真検索で写真を検索する際は必ず写真の入っている最後の子フォルダを指定してください。

５　こんなときは

外付けのドライブが接続されているとコンピュータが起動しない

この現象はコンピュータのUSB接続によるトラブルです。コンピュータのバイオスと呼ばれる基本ソフトを設定もしくは更新することにより、回避できる場合があります。バイオスの設定と更新作業に関しては、コンピュータメーカーにお問い合わせください。

FTPの送信ができない

受信者側のIPアドレスが変更されている可能性があります。受信者側のIPアドレスを確認してください。もしくは受信者側コンピュータのFTPサーバーソフトが起動していることを確認してください。

ブロードバンドの接続環境が断線していないかを確認してください。お使いのコンピュータがインターネットにつながっているかどうかは､コンピュータのインターネットエクスプローラを起動して、登録されているホームページが開けば正常につながっています。

FTP送信中、データの送信ができなくなる。もしくはインターネットが断線する。（送信中タイムアウトの表示が出る）

無線LANなどで接続している場合、送信中データが途切れた場合に発生するおそれがあります。必ずケーブルで接続してください。

電話回線を使用したADSL特有現象の可能性があります。これはインターネット接続中に一般の電話が、かかってきた場合にインターネット接続が断線するという症状を発生させます。主な原因は、電話回線を家に引き込む箇所に取り付けてあるNTTの保安機と呼ばれる部品が電話呼出の際、発信するノイズによるものです。対策方法としてはNTTに保安機の交換を依頼して下さい。

知らないうちに、プロパンガスの料金集計機や警備会社などの非常発信機が、契約時、電話回線に接続されていませんか。接続されている場合、それらの機器を取り付けた会社にご相談ください。

接続したコンピュータが認識できない

通信のエラーが発生した場合、両方のコンピュータの電源を切り再度起動してください。起動後は１０分ぐらい何も操作をしないで、１０分ぐらいしてから認識をしているかを確認してください。

ウィンドウズMEでウィンドウズXP,２０００と通信をする場合、ME側のコンピュータは読まれる側専用としてご利用ください。

５　こんなときは

ウィンドーズ XP でメディアを差し込むと操作ウィンドウがでる

ウィンドーズ XP では初期値として画像の入っているメディアをコンピュータに挿入すると右図のようなウィンドウが表示されます。

　次回から表示させなくするには、【何もしないを選択】し、【常に同じ行動をする】にチェックを入れてください。

６　コンピュータの接続

通信の設定（XP）

コンピュータのローカル IP アドレスが自動所得に設定されている場合、通信できないことが多々あります。

【IP アドレス設定方法】XP の場合
【マイネットワーク】右クリック→【プロパティー】→【ローカルエリア接続】右クリック→【プロパティ】→窓の中【インターネットプロトコル(TCP/IP)】ダブルクリック→【次の IP アドレスを使う】にチェックを入れる→【IP アドレス】に１９２．１６８．○．●●と入れる（＝○は通信するコンピュータと同じ番号、●●は通信するコンピュータと違う番号を入力してください）【サブネットマスク】に２５５．２５５．２５５．０と自動入力されます→【OK】で完了します。
注意＝ブロードバンドルーターを使用してインターネットに接続している場合【IP アドレス】には１９２．１６８．○．●●の○部分にはルーターと同じ数字をご利用ください。●●は違う数字をいれること。【デフォルトゲートウェイ】欄にはルーターが使用している IP アドレスを入力してください。又、【次の DSN サーバーのアドレスを使う】欄には、インターネット接続業者から知らされたアドレスを入力してください。(この設定を入力しないとインターネットにつながりません)

【ワークグループ設定方法】XP の場合
【マイコンピュータ】右クリック→【プロパティ】→【コンピュータ名】→【変更】→【ワークグループ】にチェックを入れる→【名前の入力】必ず半角英数でグループの名前を通信するコンピュータと同じ名前に設定する。

【読込みフォルダの共有設定】
本説明書１０ページをお読みください。

【警　告】

写真プリンタの設定においては､絶対に【デフォルトゲートウェイ】の設定をしないでください。インターネットにつながるとウィルスに感染する危険性が増大します。

６　コンピュータの接続

通信の設定（２０００）　コンピュータのローカル IP アドレスが自動所得に設定されている場合、通信できないことが多々あります。

【IP アドレス設定方法】２０００の場合
【マイネットワーク】右クリック→【プロパティー】→【ローカルエリア接続】右クリック→【プロパティ】→窓の中【インターネットプロトコル(TCP/IP)】ダブルクリック→【次の IP アドレスを使う】にチェックを入れる→【IP アドレス】に１９２．１６８．○．●●と入れる（＝○は通信するコンピュータと同じ番号、●●は通信するコンピュータと違う番号を入力してください）【サブネットマスク】に２５５．２５５．２５５．０と自動入力されます→【OK】で完了します。
注意＝ブロードバンドルーターを使用してインターネットに接続している場合【IP アドレス】には１９２．１６８．○．●●の○部分にはルーターと同じ数字をご利用ください。●●は違う数字をいれること。【デフォルトゲートウェイ】欄にはルーターが使用している IP アドレスを入力してください。又、【次の DSN サーバーのアドレスを使う】欄には、インターネット接続業者から知らされたアドレスを入力してください。(この設定を入力しないとインターネットにつながりません)

【ワークグループ設定方法】２０００の場合
【マイコンピュータ】右クリック→【プロパティ】→上部のタブ【ネットワーク ID 】→【プロパティ】→【ワークグループ】にチェックを入れる→【名前の入力】必ず半角英数でグループの名前を通信するコンピュータと同じ名前に設定する。

【読込みフォルダの共有設定】
本説明書１０ページをお読みください。

【警　告】

写真プリンタの設定においては、絶対に【デフォルトゲートウェイ】の設定をしないでください。インターネットにつながるとコンピュータウィルスに感染する危険性が増大します。

オリエンタル写真商事